

2025年3月期 中間期決算説明会 主要質疑応答

ライフサイエンス市場の回復はいつに頃になると考えていますか

- コロナ禍後のライフサイエンス市場は緩やかに回復するだろうと、当社を含めたライフサイエンス関連企業は見込んでいましたが、研究開発予算は昨年よりも減っているのが現状であり、その本格的な回復時期を見通すのは難しい状況です。しかしながら、これまで mRNA ワクチン等の感染症対策に資金が集中していたものが、異なるテーマに動きつつあり、それらが伸び始めています。例えば、当社ではシングルセル解析や空間解析の分野です。ライフサイエンス市場の回復は右肩上がりではありませんが、今年よりも来年、来年よりも再来年と緩やかに回復していくと考えています。

CDMO 事業が下期偏重であるが、その達成確度についてはどう考えていますか

- CDMO 事業は通期売上高の約 59%を第4 四半期に売り上げる見込みです。
- 再生医療等関連受託では、細胞加工はクライアントの方針変更による影響を受けていますが、ベクター製造では下期に mRNA ワクチン関連の売上を見込んでいます。
- 遺伝子解析・検査受託は、例年期末に向けて受注が増える傾向があり、今期はこれまで以上の稼働率を見込んでいます。
- 安定的に長期的な売上を見込める案件が増えてきており、5月10日の期初予想を変えず計画通りに進めます。

CDMO 事業は下期偏重で上期の売上が少ないですが、当期の第4四半期から年度を跨ぎ、来期の上期の売上となるような受注はありますか

- 昨年度末から今年度へと、年度を跨ぐ受託案件は少なかったのですが、今年度は来年度へ繋がる仕掛も増えています。
- 遺伝子・細胞プロセッシングセンター（CGCP）2号棟の製造能力の向上に合わせて、稼働率も順次上がってきています。

TBI-1301 (NY-ESO-1・siTCR[®])の承認申請・承認時期、販売パートナーについて教えてください

- TBI-1301 は、2026年3月期中に製造販売承認申請の計画で予定通り進捗しています。承認の時期については、承認申請後の話になるのでコメントは差し控えます。
- 販売パートナーについては、申請時期を見極めながら探しているところであり、候補企業との協議を進めています。

以上

【将来の見通しに関する注意事項】

資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。